



# チャプレンだより



セブンスデー・アドベンチスト石川キリスト教会附属  
石川三育保育園  
2022年4月28日発行

皆様いかがお過ごしでしょうか。入園・進級式から1ヶ月が経過いたしました。皆様にとってこの1ヶ月は早いと感じましたでしょうか。それとも長い1ヶ月でしたでしょうか。園児たちにとっては慣れないことも多く、緊張の1ヶ月であったかもしれません。何事も初めが肝心ですので、何はともあれこの1ヶ月を無事に終わられましたことを感謝いたします。

はじめは怖いものを見るような目でこちらを見ていた園児たちが、私に向かって手を振ってくれるようになったことに喜びを感じております。しかし、まだまだ不思議そうな顔でこちらの様子を伺っている子も多く、これからの変化を楽しみに期待しております。

さて、5月を目前にして、先日保育園では「こいのぼり掲揚式」を行いました。園庭の空になびく大きなこいのぼりの姿を見て子どもたちもとても喜んでおります。元気よく風を泳ぎ、天に昇っていくようなこいのぼりの勇姿に感化されつつ、園児たちの健やかな成長をお祈りしております。

園児たちはこの1ヶ月で保育園に慣れ始めておりますが、同時に気が緩み始める時期でもあります。疲れが出て体調を崩すこともあるかもしれません。思わぬケガや事故が起らないよう特に注意し、神様の御心に適う保育ができますよう職員一同取り組んでまいります。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙— 5章16-18節

聖書の教えのひとつに「喜んでいなさい」というメッセージがあります。新しい年度が始まり、園児だけでなく保護者の皆様方も疲れが出てくるころではないでしょうか。コロナ禍にあってさまざまな変化を経験し、激動の時代に生きる私たちだからこそ、喜ぶ気持ちや感謝する心を忘れないようにしたいと思います。小さな子どもたちと大人の私たちでは時間感覚が異なります。大人にとっての一瞬が子どもたちにとっては長い時間を感じるものです。このかけがえのない一瞬一瞬を大切に、すべてに感謝できる心を養うことができれば幸いです。

石川三育保育園 チャプレン  
廣前 早輝人

